

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 1 日

事業名称		国際交流事業費 [日本語学習ボランティア支援事業]					
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 12	地域振興費	事業番号 3
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等						
担当部署・課長名	地域振興		課 市民協働		係	課長名	石川 正憲
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	5 - 4	
【施策名】 地域を越えたパートナーシップの確立					総合計画書 (ページ)	113	
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）			
	日本語学習ボランティア			→ 日本語学習ボランティア教室（3グループ）でボランティアを行っている人数（年度当初の日本語ボランティア人数）			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）			
	①日本語の話せない外国籍住民に対し、継続して学習ボランティア活動を行うとともに、日本語指導スキルが向上することを旨とする。 ②新規ボランティアの獲得			→ ①日本語学習ボランティア教室（3グループ）でボランティアを行なっている人数 ②年度途中でボランティア登録した人数			
指標の推移	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）			
	①ボランティア保険の加入 ②日本語学習ボランティア講座(初級・中級)の開催 ③日本語ボランティアグループに対し、日本語教材の貸与 ④日本語ボランティアグループの活動場所の予約 ⑤日本語ボランティア教室のPR（市報掲載、パンフレットの配布）			→ ①随時 ②初級（ボランティア説明会含む）・中級講座 ③年1回希望教材の貸与 ④年間活動日の公共施設の予約 ⑤市報掲載、パンフレットの配布			
	対象指標	①の数値	人	過去2年間の実績	当該年度	成果目標	
	成果指標	②の数値	人	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
目標	②の目標値 件						
活動指標	③の数値	件	①1 ②1 ③1	①1 ②0 ③1	①1 ②1 ③1	50	50
3 経費	事業費(実績)		円	89,728	47,472	96,306	
	財源	一般財源	円	89,728	47,472	96,306	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	1,648,800	1,662,000	1,676,000	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	1,738,528	1,709,472	1,772,306		
4 環境変化等	(1) 開始年度 不明 年度						
	(2) 環境の変化						
・出身国割合の変化及び多国籍化。 ・オリンピック開催気運で向上した国際交流に対する関心が、コロナ禍において低下。							

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。
 人件費（再任用職員以外）
 年間単価は、8,380,000円
 時間単価は、4,300円
 で計算してください。
 【算出根拠】平成31年度決算数値。
 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)

事業名称	国際交流事業費 [日本語学習ボランティア支援事業]				
担当部署・課長名	地域振興	課	市民協働	係	課長名 石川 正憲

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	<ul style="list-style-type: none"> ・グループへの新規加入者が少ないため、学習者の数に対してボランティア人員が不足している。 ・コロナ感染症対策として活動人数を抑制した結果、学習者の参加機会が減少し、またボランティアの活動機会も減少した。 ・コロナ感染状況の悪化により、年明けから活動休止したため、学習者・ボランティアの意欲維持に配慮した。 				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：⑤ ⑦			
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()			
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 グループの活動が更に活性化するよう、学習者・ボランティアの新規加入の促進が望ましい。				
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記) 外国人の日本語学習の場として、グループの自主性を優先しながら引き続き活動を支援していく。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。 ・ボランティア保険の加入 ・日本語ボランティアグループに対し、日本語教材の貸与 ・日本語ボランティア教室のPR(市報掲載、パンフレットの配布) ・日本語学習ボランティア講座(初級・中級)の開催 ・日本語ボランティアグループの活動場所の予約				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ボランティアグループが活性化するよう新規加入者の獲得、及び既存ボランティアの更なる意欲向上と活動定着を図る。				
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 地域を越えたパートナーシップの確立 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案) <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	【取組内容】 外国人の日本語学習の場として、学習グループの自主性を優先しながら、引き続き活動を支援していく。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ボランティアグループ側として、更に魅力ある学習の場になるよう、学習者のニーズとボランティアの意欲のバランスに配慮しながら活動を継続していただく。				